

年 組 名前：



袖の長い七夕人形

南ア・安藤家住宅 8日まで展示

七夕の節句（7月7日）に合わせ、南アルプス市西南湖の重要文化財・安藤家住宅は、市教委文化財課によると、県内独自の「七夕人形」やさ

七夕人形は和紙で作られ、南アルプス市など峡西地域では袖が長い人形が確認されている。人形は「お留守居さん」とも呼ばれ、七夕の翌日からは家や畑の守り神とも考えられていた。安藤家住宅には、職員が伝統の技法を再現して作った人形が飾られている。このほか、来場

山梨独自の節句飾り「七夕人形」
南アルプス市西南湖

者が願い事を書いた短冊を飾る7本のさき飾りや、市発祥の「小笠原流礼法」総師範と門下による七夕の節句飾りも並んでいる。担当者は「地域で親しまれてきた、昔ながらの七夕の風情を楽しんでほしい」と話している。

展示は8日まで。火曜日休館、午前9時～午後4時半。入館料は大人300円、小中高生100円。未就学児無料。問い合わせは安藤家住宅、電話055（284）4448。

(2022年7月5日付 山梨日日新聞 23面)

問1

南アルプス市の重要文化財・安藤家住宅に、七夕人形が展示されました。七夕人形には、どのような特徴がありますか。

問2 七夕人形は、別名で何と呼ばれていますか。また、なぜそのように呼ばれているのですか。

- ・別名
- ・理由

問3 七夕の短冊には、願い事を書いたりします。あなたなら、どんな願い事を書きますか。